



 **Husqvarna**[®]



T540i XP[®], T540i XPG[®]

目次

はじめに.....	2	搬送、保管、廃棄.....	27
安全性.....	4	主要諸元.....	28
組立.....	12	アクセサリ.....	29
Operation（操作）.....	14	適合宣言.....	32
メンテナンス.....	19	登録商標.....	32
トラブルシューティング.....	27		

はじめに

用途

この製品は、剪定や樹木の分割など専門的な樹木の保全作業に使用します。

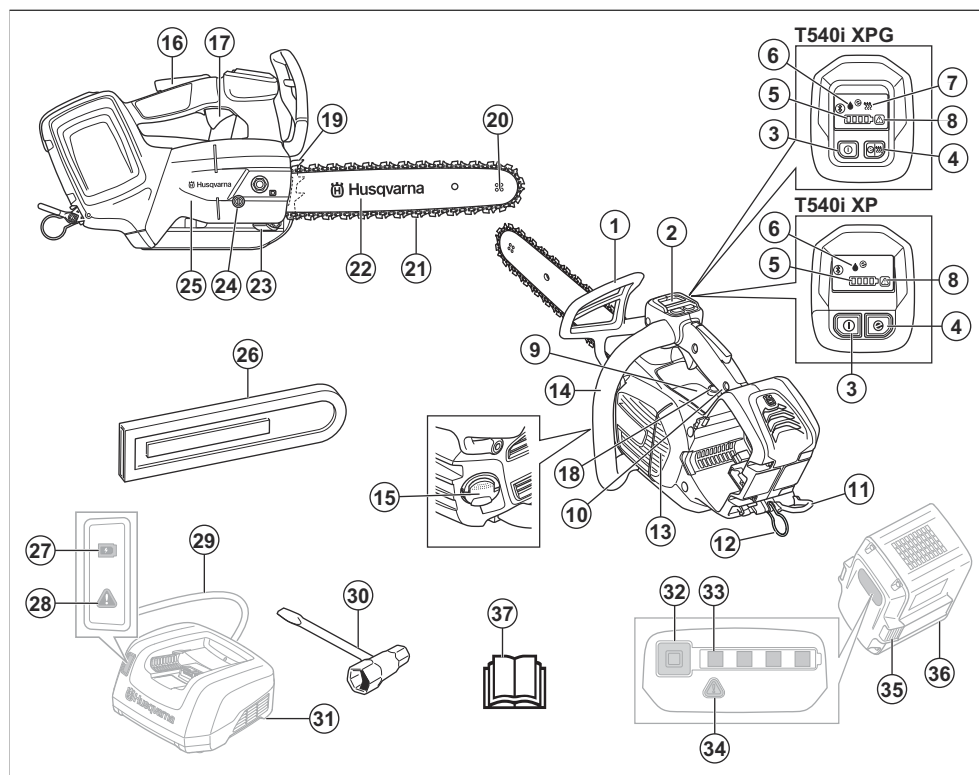
注記： 本製品の使用においては、国内の規制が課せられる場合があります。

製品の概要

製品の説明

本製品は、電気モーターで作動するチェーンソーモデルです。

弊社では、皆様の安全と作業の効率性を向上させるため、常に製品の改善に力を入れています。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。



1. フロントハンドルガードおよびチェーンブレーキ

2. ユーザーインターフェイス

3. START/STOP ボタン
4. SavE ボタン
5. バッテリーインジケータ
6. オイルレベルインジケータ
7. ハンドル加熱インジケータ
8. 警告インジケータ
9. 情報と警告ラベル
10. トップハンドル
11. ベルトアイレット
12. ロープアイレット
13. ファンハウジング
14. フロントハンドル
15. チェンオイルタンク
16. パワートリガーロック
17. パワートリガー
18. オイル調整ネジ
19. スパイクバンパー
20. ノーズスプロケット
21. ソーチェン
22. ガイドバー
23. チェンキャッチャー
24. チェンの張り調整ネジ
25. ドライブスプロケットカバー
26. ガイドバーカバー
27. 充電状態インジケータ
28. 警告インジケータ
29. 電源ケーブル
30. コンビレンチ
31. バッテリー充電器（アクセサリ）
32. ボタン、バッテリーの状態
33. バッテリーステータス
34. 警告インジケータ
35. バッテリーリリースボタン
36. バッテリー（アクセサリ）
37. 取扱説明書

製品に表記されるシンボルマーク



作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。十分に注意し、本製品を正しく使用してください。本製品を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、指示内容をよく理解してください。



認可された保護ヘルメット、イヤマフ、および防護メガネを着用してください。



本製品は EC 指令適合製品です。



この製品は該当する UK 規制に準拠しています。



環境に対する騒音レベルが EU（ニューサウスウェールズ州の法律も含む）および英国の指令および規制に準拠しています。本製品の保証音響レベルは次の場所とラベルに記載されています：**適合宣言 32** ページ。



足、脚、手、腕に、認可された保護具を使用してください。



本製品は両手で持って操作してください。



警告! ガイドバー先端に物体が接触すると、キックバックが発生する場合があります。それによりガイドバーが作業者の方向にはじかれます。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。



チェンブレイキ、作動（右）チェンブレイキ、解除（左）



チェン方向インジケータ



ガイドバーの最大長



チェンオイル



定格電圧、V。



直流。



水の飛沫から保護します。



環境マーク 本製品や本製品のパッケージは、一般廃棄物ではありません。電気・電子機器の認定済み処理業者にリサイクルを依頼してください。



本製品が **Bluetooth®** ワイヤレステクノロジーに対応していることを示します。**Bluetooth®** マークは製品名のラベルに表示されます。参照： **Bluetooth®** ワイヤレステクノロジー **14** ページ。



このソーは、樹木の保全作業の特別な訓練を受けた使用者だけが使用してください。取扱説明書を参照してください。

yyyywwxxxxxx

製造番号は銘板またはレーザー印刷に記載されています。**yyyy** は製造年、**ww** は製造された週です。



安全装置付き変圧器。



バッテリー充電器は屋内でのみ使用、保管してください。



二重絶縁。

製品の損傷

以下の場合、当社は製品の損傷について責任を負いません。

- 本製品が誤って修理された場合。
- メーカーによるものではない部品、またはメーカーの認可していない部品を使用して本製品を修理した場合。
- メーカーによるものではないアクセサリ、またはメーカーの認可していないアクセサリを本製品に使用した場合。
- 認定サービスセンターまたは認定販売店で本製品が修理されていない場合。

注記： 本製品に付いている他のシンボル／銘板は、一部の市場地域に向けた認定条件を示します。

本取扱説明書内のマーク

以下のマークは、本取扱説明書の図にのみ使用されます。



警告！ ガイドバー先端に物体が接触すると、キックバックが発生する場合があります。それによりガイドバーが作業者の方向にはじかれます。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

バッテリーやバッテリー充電器のシンボルマーク



電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。（ヨーロッパにのみ適用）

安全性

安全性の定義

警告、注意、注記は、取扱説明書の特に重要な部分を示しています。



注意： 取扱説明書の指示に従わない場合、製品や他の物品、または隣接するエリアに損傷を与える危険があることを意味します。



警告： 取扱説明書の指示に従わない場合、使用者が負傷したり、死亡したりするか、あるいは付近の人に損傷を与える危険があることを意味します。

注記： 特定の状況で必要とされる詳細情報を提供するために使用されます。

パワーツールの一般的な安全上の警告



警告： このパワーツールに付属している安全に関する警告、注意事項、図、仕様をすべてお読みください。下記のすべての指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

- すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。警告の「パワーツール」とは、電源で作動する（コード付）パワーツールまたはバッテリー駆動（コードレス）のパワーツールを指します。

作業エリアの安全

- 作業場所を清潔に、照明を明るく保ちます。乱雑な、あるいは暗い場所では、事故が起こりやすくなります。
- 可燃性の液体や気体、塵がある所など、爆発性雰囲気の中でパワーツールを作動させないでください。パワーツールは、塵やガスを発火させる火花を発生させます。
- パワーツールの操作中は子供やそばにいる人たちと十分な距離を置いてください。注意が散漫になって、操作ミスを引き起こす可能性があります。

電気保安

- パワーツールのプラグはコンセントに適合しなければなりません。決してプラグを改造しないでください。アダプタプラグをアースの付いた（接地された）パワーツールとともに使用しないでください。改造されていないプラグおよび型の同じコンセントを使用すれば、感電のリスクが低くなります。
- パイプやラジエータ、レンジ、冷蔵庫など、アースの付いた表面または接地された表面に触れないようにしてください。体が接地していたりアースされていたりすると、感電のリスクが高くなります。
- パワーツールを雨露や湿潤な環境に曝さないでください。パワーツール内に水が浸入すると、感電のリスクが高まります。
- コードを本来の目的以外に使用しないでください。コードを持ってパワーツールを移動したり、引っ張ったり、電源を抜いたりすることのないようにしてください。熱やオイル、とがった先端や可動部品にコードを近づけないでください。コードが破損したり絡まると、感電のリスクが高くなります。
- 屋外でパワーツールを操作する場合は、屋外での使用に適した延長コードを使用してください。屋外での使用に適したコードを使用することで、感電の危険性は少なくなります。
- 湿気のある場所でパワーツールを操作せざるを得ない場合は、電源を保護するために漏電遮断器（RCD）使用してください。RCDは感電の危険を低減します。

個人の安全

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残ってい

る状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながる場合があります。

- 身体保護具を使用してください。常に眼の保護具を着用してください。防塵マスクや滑り止め用の安全靴、ヘルメット、イヤマフを使用すると、負傷の危険性が少なくなります。
- 予期せぬ始動を防止してください。電源およびバッテリーパックを接続したり、ツールを手に取って運んだりする前に、必ずスイッチがオフの位置にあることを確認してください。スイッチに指を置いてパワーツールを運んだり、スイッチが入った状態でパワーツールに圧力をかけると、事故につながります。
- パワーツールをオンにする前に、調整キーとレンチを外してください。パワーツールの回転部品にレンチやキーが取り付けられたままになっていると、負傷の原因となります。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。こうすることで、予期しない事態でもパワーツールを安定した状態に保つことができます。
- 適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。可動部品に髪の毛や衣服を近づけないでください。ゆったりした衣服や装身具、長髪は可動部品に絡まるおそれがあります。
- 集塵装置の接続用装備が提供されている場合、それらが接続されて正しく使用されているか確認してください。集塵装置を使用すると、塵に関連する危険を回避できます。
- ツールを頻繁に使用することによる慣れで、安全への関心を失ってツールの安全原則を無視することは非常に危険です。不注意により、一瞬で深刻な事故が発生するおそれがあります。

パワーツールの使用と手入れ

- パワーツールを無理に使用しないでください。用途に合った正しいパワーツールを使用してください。正しいパワーツールを使用した方が、意図された速度でより良く安全に作業を行えます。
- スイッチが機能しない場合はパワーツールを使用しないでください。スイッチで制御できないパワーツールは危険なため、修理する必要があります。
- パワーツールの調整、アクセサリの変更、またはパワーツールの保管前は、電源プラグを外し、パワーツールからバッテリーパックを取り外してください（着脱可能な場合）。予防的な安全対策を行うことで、誤ってパワーツールを始動させる危険性が少なくなります。
- 使用していないパワーツールは子供の手の届かない所に保管して、パワーツールやこの取扱説明書に詳しくない人間がパワーツールを操作しないように注意してください。不慣れたユーザーがパワーツールを扱うと危険です。
- パワーツールとアクセサリをメンテナンスします。可動部品の誤調整や巻き付き、部品の破損やパワーツールの動作に影響する他の状態がないかどうか確認します。破損している場合は、使用する前にパワーツールを修理してください。ほとんどの事故

は、正しいメンテナンスを受けていないパワーツールが原因です。

- 切削工具は研いだ状態で清潔に保ちます。正しくメンテナンスされて研いである切削工具は、バインドすることも少なく、制御が簡単です。
- パワーツール、アクセサリ、工具ビットなどは、これらの取扱説明書に従って使用し、作業条件および行う作業を考慮してください。意図されていない作業でパワーツールを使用すると、危険な状況招くことがあります。
- ハンドル部および保持面は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。ハンドルと保持面が滑りやすいと、予期しない状況でツールの安全な取り扱いや制御ができません。

バッテリーツールの使用と手入れ

- メーカー指定の充電器のみを使って充電してください。1種類のバッテリーパックのみに適合する充電器は、それ以外のバッテリーパックの充電で使した場合、火災を起こす恐れがあります。
- 仕様で指定されたバッテリーパックのみでパワーツールを使用してください。それ以外のバッテリーパックを使用すると、怪我や火災を招く危険があります。
- バッテリーパックを使用しないときは、ペーパークリップ、コイン、キー、爪きり、ネジなどの金物、あるいは端子間を短絡するおそれがある他の小さな金物から遠ざけるようにしてください。バッテリー端子の短絡は、火傷や火災を引き起こす恐れがあります。
- 劣悪な環境では、液体がバッテリーから漏れ出すことがあります。そのような場合、液体には触れないようご注意ください。もし万が一誤って触れてしまった場合、水で洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れ出した液体は、炎症や火傷を引き起こすことがあります。
- 損傷した、または改造されたバッテリーパックやツールは使用しないでください。損傷した、または改造されたバッテリーは、予測不可能な挙動を起こし、発火や破裂、障害の原因となる可能性があります。
- バッテリーパックやツールを火や高温にさらさないでください。火または 130 °C (266 °F) 以上の温度環境にさらすと爆発する恐れがあります。
- 充電の手順にすべて従い、指示された温度範囲外でバッテリーパックまたはツールを充電しないでください。充電を不適切に行ったり、指定された範囲から外れた温度環境で行ったりした場合、バッテリーの損傷や火災発生危険の増加につながることがあります。

サービス

- パワーツールのサービスは、資格のある修理担当者と同じ交換部品を使って行うようにしてください。こうすることで、パワーツールの安全性を維持できます。

- 損傷したバッテリーパックを決して修理しようとししないでください。バッテリーパックの修理は、製造元または認定サービス代理店しか行えません。

チェンソーに関する一般的な安全上の警告

- チェンソーの操作中は、体のあらゆる部分をソーチェーンから遠ざけるようにしてください。チェンソーを始動する前に、ソーチェーンが何にも接触していないことを確認してください。チェンソーの操作中は、一瞬の不注意が、ソーチェーンによる衣服や身体の巻き込み事故につながる場合があります。
- 常に、トップハンドルを右手、フロントハンドルを左手で持ってチェンソーをしっかりと持ってください。逆の手でチェンソーを持つと怪我をする危険性が高まるため、この行為は絶対におやめください。
- ソーチェーンは隠れた配線に接触する可能性があるため、絶縁グリップ面だけを握ってパワーツールを持ってください。ソーチェーンが「通電」している配線に接触することで、チェンソーの露出している金属部分が「通電」状態となることがあり、使用者が感電する危険性があります。
- 防護メガネを着用してください。さらに、聴覚、頭、手、脚と足用の身体保護具の着用を推奨します。適切な身体保護具を着用することで、飛び散る破片による怪我やソーチェーンの接触事故を軽減できます。
- 梯子の上、屋根の上、その他支えが安定しない状態で、チェンソーを操作しないでください。このような状態でチェンソーを操作すると、重傷を負うおそれがあります。
- 張力のかかった枝を扱うときは、スプリングバックに注意してください。木材繊維の張力が解放されたとき、板ばねのようにになっている枝で使用者が直撃を受けたり、チェンソーが制御不能になって飛ばされたりすることがあります。
- チェンソーのスイッチを切って、体から離れた状態で、フロントハンドルを持って運んでください。チェンソーの輸送や保管を行う際は、ガイドバーカバーを常に取り付けてください。チェンソーを正しく取り扱うことで、動いているソーチェーンとの不意な接触の危険性を減らすことができます。
- 潤滑、チェーンの張力調整、およびバーやチェーンの交換については、指示に従ってください。チェーンの張り具合や潤滑が不適切であると、チェーンが損傷したり、キックバックの危険性が増したりする恐れがあります。
- 樹木や材木のみを切断してください。意図されていない用途にチェンソーを使用しないでください。たとえば、プラスチック、石材、その他木材以外の建材の切断には、チェンソーを使用しないでください。意図されていない用途にチェンソーを使用すると、危険な状況が生まれることがあります。
- このチェンソーは伐倒を目的としたものではありません。意図されていない用途にチェンソーを使用すると、作業者または付近の人が重傷を負うおそれがあります。
- 詰まりを取り除く場合や、チェンソーの保管または整備を行う場合は、手順を守ってください。スイッチがオフになっていて、バッテリーパックが取り外されていることを確認します。詰まった物質を取り除く際、または整備作業中に、チェンソーが予期せ

ず作動すると、重大な人的傷害につながるおそれがあります。

キックバックの原因と使用者による防止方法

キックバックは、ガイドバー先端に何かが接触したとき、あるいは、樹木が近づきすぎて、切断中のソーチェンに巻き込まれたときなどに発生します。先端が障害物に触れると、反動の力が突然発生し、ガイドバーが上方または使用者に向かって勢い良く戻ってきます。ガイドバーの上部に沿ってソーチェンに何かが挟まると、ガイドバーが使用者へ向かって急激に押し戻されます。これらの反動による動作はいずれも、チェンソーの制御を不可能にして、深刻な人的傷害を招くことがあります。チェンソーに搭載されている安全装置を頼り過ぎないようにしてください。チェンソーの使用にあたっては、事故や怪我なく切断作業を行うために、いくつかの段階を踏む必要があります。キックバックは、チェンソーの誤った使用あるいは不適正な操作手順や操作条件などの結果生じるものであり、以下に示す正しい予防措置を講じることによって避けることが可能です。

- 親指と他の指で取り囲むようにしっかりとチェンソーのハンドルを握ります。キックバック力に耐えられるように、両手でチェンソーを持ちながら、体と腕の位置を決めてください。適切な予防措置を講じれば、使用者がキックバックを制御できます。チェンソーを離さないでください。
- 無理な体勢で作業したり、肩の高さよりも上の位置の物体を切断したりしないでください。こうすることで、先端が偶発的に何かに接触するのを防ぐことができ、不測の事態でもチェンソーを適切に制御することが可能になります。
- 交換用ガイドバーとソーチェンは、ハスクバーナの指定品のみを使用してください。不適正なガイドバーやソーチェンに交換した場合、チェンの損傷やキックバックが起こることがあります。
- ソーチェンの目立てやメンテナンスについては、本書の記載にしたがってください。デブスゲージの高さの減少は、キックバックの増加につながります。

以下の指示は、大切に保管してください。

一般的な安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本製品は、慎重かつ適切に使用しないと、危険な道具となります。本製品により、操作者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。
- メーカーの承認なしに本製品を改造しないでください。他者が改造した製品を使用しないでください。また、必ず純正のアクセサリを使用してください。認定されていない改造は、作業者や付近にいる人の重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- チェンオイルの蒸気や切りくずを長期間吸引していると、健康を害する場合があります。

- 本製品では、運転中に電磁場が発生します。この電磁場は、ある条件下でアクティブ、またはパッシブな医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻な重傷や死亡の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している方は、本製品を使用する前に主治医および医療用インプラントの製造元にご相談することをお勧めします。

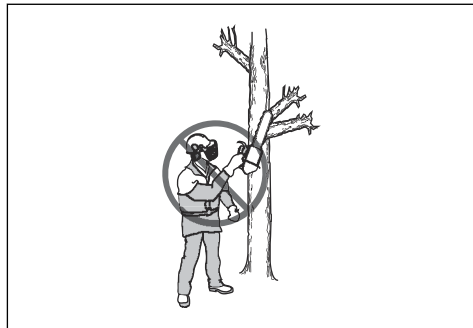
操作のための安全注意事項



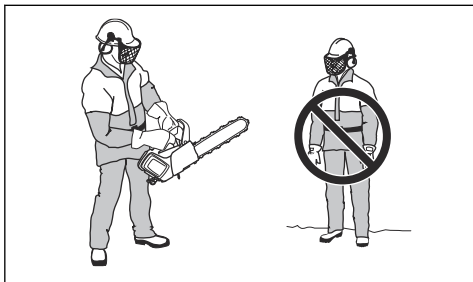
警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 本取扱説明書に記載の情報は、専門家の技術や経験に代わるものではありません。本製品の操作に不安がある場合は、専門知識や経験のある人にご相談ください。
- 本製品の操作について質問がある場合は、サービス代理店または Husqvarna にご相談ください。本製品を適切に、安全に操作する方法をご説明します。可能であればチェンソーの操作方法のトレーニングクラスを受講してください。サービス代理店、林業学校、図書館などで、トレーニング資料や講習などについての情報が提供されています。
- 本製品は制御不能になると危険性が増します。木に登って本製品を使用する際は、必ず鋸断技術や作業技術の特別なトレーニングを受けた作業者が実施してください。作業者は、リフト、ロープ、安全ハーネスなどの安全装置を装備する必要があります。地上で行うあらゆる作業には、標準的なチェンソーの使用をお勧めします。
- 負傷の危険性を抑えるために、特殊な鋸断技術や作業技術に関する指示に従ってください。木に登って作業するための専門的な訓練を受けていない限り、木の上で作業を行わないでください。この訓練には、安全な木登り技術や作業位置の習得が含まれます。ハーネス、ロープ、ベルト、アイゼン、カラビナなどの装具の使用方法を習得する必要があります。
- ガイドバー先端のキックバックゾーンを使用して鋸断しないでください。
- 回転しているソーチェンに触れないでください。重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。
- 作業者が1本のロープしか装着していない場合は、落下する断片を受け止めようとしていたり鋸断したりしないでください。必ず安全ロープを2本使用してください。
- 伐倒作業では、切断作業の完了後すぐにイマフを外してください。音や警告信号が聞こえるようにしてください。
- 本製品を使用する前に、キックバックの影響と、防止方法について理解する必要があります。参照：キックバックについて 15 ページおよび キックバックに関するよくある質問 15 ページ詳細をご覧ください。
- 損傷している、または正しく動作しない製品、バッテリー、バッテリー充電器は使用しないでください。

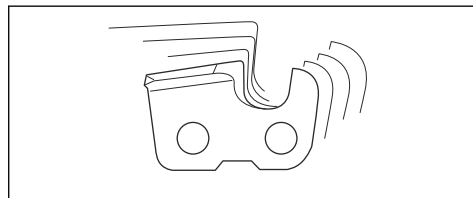
- 疲労時、疾病時、アルコールや医薬品の影響が残っているときは、本製品を使用しないでください。視野、注意力、判断力、動作に悪影響を及ぼすような状態のときは、本製品を使用しないでください。作業時間が終了する前に疲労してしまう危険性が増します。
- ガイドバーやソーチェン、カバー類がすべて正しく装着されていない状態では、本製品を始動しないでください。正しく装着されていない状態で始動すると、ドライブスプロケットが外れて、重症を負うおそれがあります。参照：組立 12 ページ詳細をご覧ください。
- 木くずがクラッチカバーに詰まって、ソーチェンが動かなくなることがあります。清掃する前は、必ずエンジンを停止してください。
- 本製品を操作する際、人や動物が触れたり干渉したりする危険がないことを確認してください。



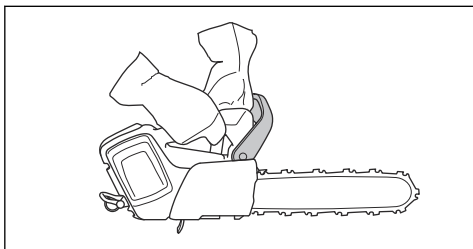
- 剪定や枝払いの特別な訓練を受けていない場合は、これらの作業をしないでください。
- 適合しない、または適切に目立てされていないカッティング装置を使用して切断すると、振動レベルが上がります。硬木（広葉樹など）を切断するとき、軟木（針葉樹など）を切断するより振動が大きくなります。



- 慎重に扱わないと、キックバックの危険が高まります。ガイドバーのキックバックゾーンが誤って枝や木などに当たると、キックバックが発生するおそれがあります。
- 本製品は片手で操作しないでください。片手では本製品のコントロールが十分にできません。
- 本製品を持つときは、必ず右手でトップハンドルを、左手でフロントハンドルをしっかりと握ってください。親指とその他の指でハンドルを握ります。これによりキックバックの影響を抑え、本製品をコントロールすることができます。ハンドルから手を放さないでください。



- 循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚麻痺、ビリビリ感、刺痛、痛み、脱力感、皮膚の色や状態の変化などがあります。通常、指、手、手首に発生するこれらの症状は、低温の環境下でよく起こります。
- 自分の能力で対応できない状況での作業は避けてください。
- 作業中に起こりうるあらゆる状況をすべて予測することは不可能です。常に常識に基づいて注意して使用してください。



- 足場が安定し、ソーチェンが何にも触れていないことを確認してください。
- 本製品を肩よりも高い位置で使わないようにし、ガイドバー先端で鋸断しないでください。



- バッテリーは -10～40°C (14～104°F) の温度で使用してください。

身体保護具



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。



- チェンソー事故の大半は、ソーチェンが使用者に当たった際に発生します。作業中は、認可されたプロテクティブ装具を着用する必要があります。プロテクティブ装具で怪我を完全に防止できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。使用が推奨される装具については、サービス代理店にお問い合わせください。
- びったりとした、ただし動きを制限しない服を着用する必要があります。定期的にプロテクティブ装具の状態を確認してください。
- 認可された防護ヘルメットを着用してください。
- 認可されたイヤマフを使用してください。長時間騒音にさらされると、回復不能な聴覚障害になる可能性があります。
- 認可された保護メガネあるいはバイザーを着用し、飛散する物体で負傷しないようにしてください。本製品は、木くず（小さな木片）などの物体を強い力で飛散させます。これにより重傷を負うことがあります。特に目の怪我の原因になることがあります。
- チェンソー用保護手袋を着用してください。
- チェンソー用保護ズボンを着用してください。
- つま先にスチールキャップの入った、滑りにくい靴底のチェンソー用保護ブーツを着用してください。
- 常に救急箱を手元に準備しておいてください。
- 火花の発生による危険。森林火災を防止するため、消火器とシャベルを用意してください。

本製品の安全装置



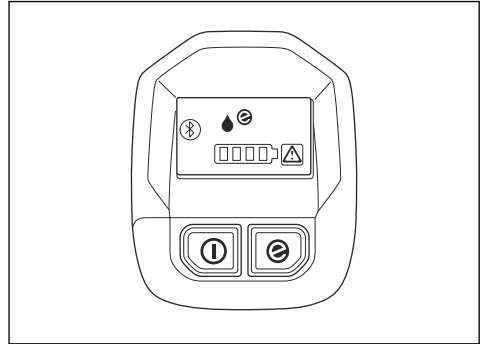
警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

- 損傷している、または正しく動作していない安全装置を取り付けた状態で、製品を使用しないでください。
- 安全装置は定期的に点検してください。参照： **製品の安全装置のメンテナンスと点検 20 ページ**。
- 安全装置が損傷している、または正しく動作していない場合は、**Husqvarna** サービス代理店にお問い合わせください。

ユーザーインターフェイスの機能 (T540i XP)

ユーザーインターフェイスには、[START/STOP] ボタン、[SaveE] ボタン、バッテリーステータス、警告イン

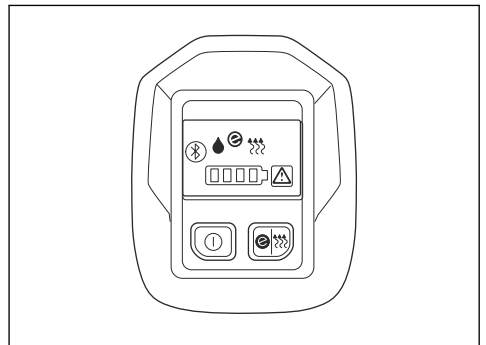
ジケータがあります。チェンブレイキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が下がるまで使用できなくなります。警告インジケータが点灯している場合は、販売店にお問い合わせください。



ユーザーインターフェイスについて詳しくは、を参照してください **製品の概要 2 ページ**。

ユーザーインターフェイスの機能 (T540i XPG)

ユーザーインターフェイスには、[START/STOP] ボタン、[SaveE] ボタン、バッテリーステータス、ハンドル加熱インジケータ、警告インジケータがあります。チェンブレイキが作動するか、過負荷の危険がある場合、警告インジケータが点滅します。過負荷保護が作動すると、製品は一時的に停止し、温度が下がるまで使用できなくなります。警告インジケータが点灯している場合は、販売店にお問い合わせください。



ユーザーインターフェイスについて詳しくは、を参照してください **製品の概要 2 ページ**。

自動停止機能

本製品には自動停止機能が搭載されており、3 分以上使用しないと停止します。

注記： チェンブレイキがかかっている場合、本製品は 30 分間動作を継続します。

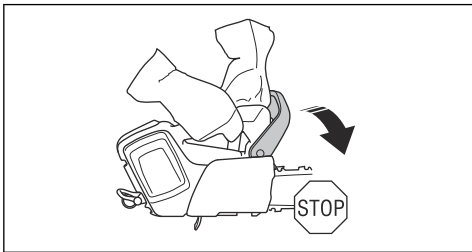
チェンブレイキとフロントハンドガード

本製品にはチェンブレイキが備わっており、キックバックが発生するとソーチェーンが停止します。チェンブレイキは事故発生の危険性を軽減しますが、何よりも大切なのは慎重な取り扱いです。

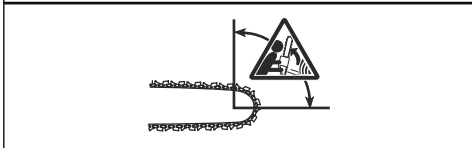
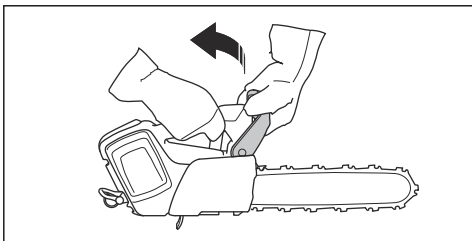


警告： キックバックが発生する危険のある状況を作らないでください。本製品を慎重に使用し、ガイドバーのキックバックゾーンが物に触れないように気を付けてください。

チェンブレイキは、手動（左手を使う）またはイナーシャ機構により自動でかかります。フロントハンドルガードを前方に押し、チェンブレイキをかけます。この動きによってパネを使用した機構が始動し、ドライブスプロケットが停止します。



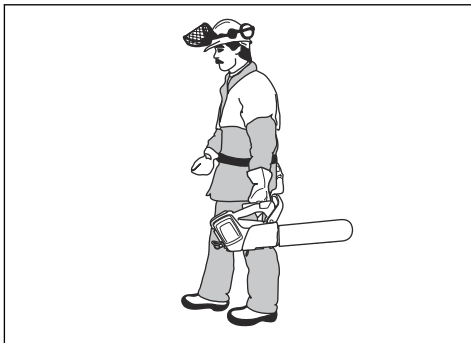
フロントハンドガードを後方に引いて、チェンブレイキを解除します。



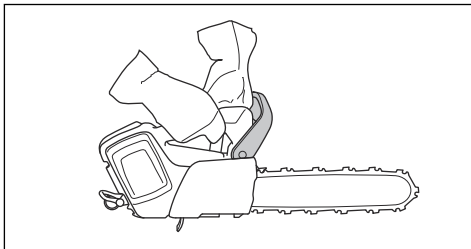
チェンブレイキの動作は、キックバックの強さと本製品の位置によって異なります。キックバックゾーンが身体から最も離れた位置にあるときに非常に強いキックバックが起こった場合、イナーシャ機構によりチェンブレイキがかかります。キックバックの力が弱く、キックバックゾーンが身体に近い場合は、左手で手動でチェンブレイキをかけます。



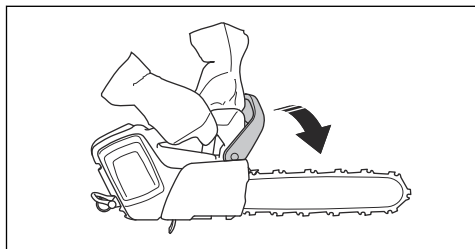
本製品を始動するときや、短距離を移動するときは、サイドブレイキのようにチェンブレイキを使用します。これにより、自身や周りにいる人にソーチェーンが接触する危険性を低減できます。



キックバックは突然、強い力で起こることがあります。キックバックのほとんどは弱いもので、いつもチェンブレイキが自動的にかかるとは限りません。本製品の使用中にキックバックが発生した場合は、ハンドルをしっかりと握って、放さないでください。



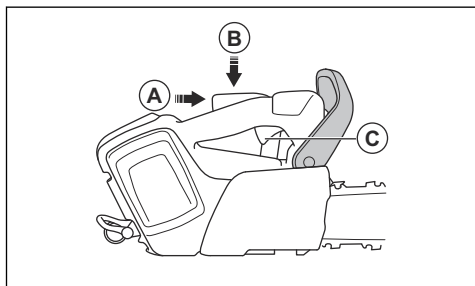
フロントハンドガードは、手がフロントハンドルから離れた際にソーチェンが接触するリスクを低減します。



伐倒ポジションでは、手動でチェンブレイキをかけることができません。このポジションでチェンブレイキをかけられるのは、イナーシャ機構だけです。

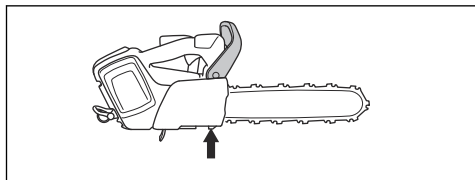
パワートリガーロック

パワートリガーロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。パワートリガーロックを前方 (A) に押し、次にハンドルの方 (B) に押し込むと、パワートリガー (C) が解放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックは元の位置に戻ります。



チェンキャッチャー

ソーチェンが破損したり外れたりした場合は、チェンキャッチャーがソーチェンを受け止めます。チェンの張りが適切な場合は、そのような危険性は低減します。ガイドバーとソーチェンを適切にメンテナンスすることで、危険が減少します。詳しくは、「[組立 12 ページ](#)」および「[メンテナンス 19 ページ](#)」を参照してください。



メンテナンスのための安全注意事項



警告： 本製品のメンテナンスを行う前に、以下の警告指示を読んでください。

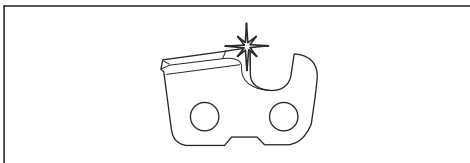
- メンテナンス、その他の点検、または製品の組み立てを行う前に、バッテリーを取り外してください。
- 作業者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。メンテナンスおよびさまざまなサービスについては、サービス代理店にお問い合わせください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。強い洗剤を使用すると、プラスチックの部品が損傷する場合があります。
- メンテナンスを実施しないと、製品の寿命が短くなり、事故の危険性が増します。
- 特に本製品の安全装置については、すべての整備と修理の作業に特殊な訓練が必要です。メンテナンスを実施した後、この取扱説明書の点検項目の中に不合格の項目があった場合は、サービス代理店にお問い合わせください。当社は、お客様の製品のために、プロフェッショナルな修理と整備を提供することを保証します。
- 純正の交換部品のみを使用してください。

カッティング装置の安全注意事項



警告： 本製品を使用する前に、以下の警告指示をお読みください。

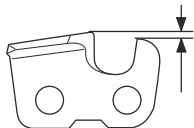
- 認可されたガイドバー／ソーチェンの組み合わせと目立て装置のみを使用してください。手順については、「[アクセサリ 29 ページ](#)」を参照してください。
- ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。
- 刃の目立てを正しく行ってください。指示に従って、推奨された目立てゲージをご使用ください。破損している、または誤って目立てされたソーチェンを使用すると事故の危険性が高まります。



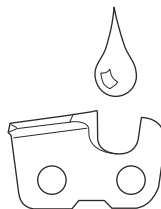
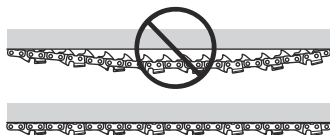
- デブスゲージの設定を正しく守ってください。指示に従い、推奨されているデブスゲージの設定を使用

してください。デブスゲージの設定が大きすぎると、キックバックの危険性が高まります。

- カutting装置を定期的にメンテナンスして、適切に注油してください。ソーチェンが正しく注油されていないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。



- ソーチェンに適切な張りがあることを確認します。ソーチェンがガイドバーにしっかり取り付けられていないと、ソーチェンが外れる場合があります。ソーチェンを正しく張らないと、ガイドバー、ソーチェン、およびドライブスプロケットの摩耗が早まります。アクセサリ 29 ページを参照してください。



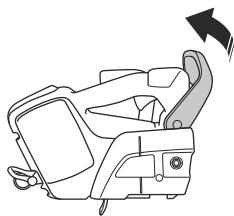
組立

ガイドバーとソーチェンの組み立て

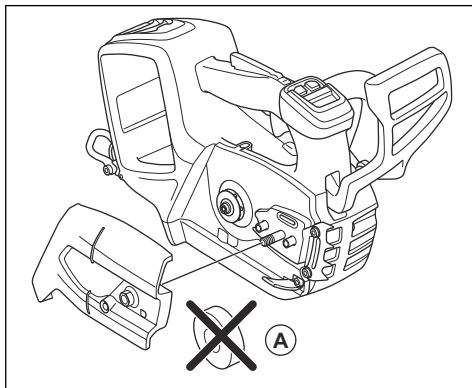


警告： 本製品の組み立て、またはメンテナンスを実行する前に必ずバッテリーを外してください。

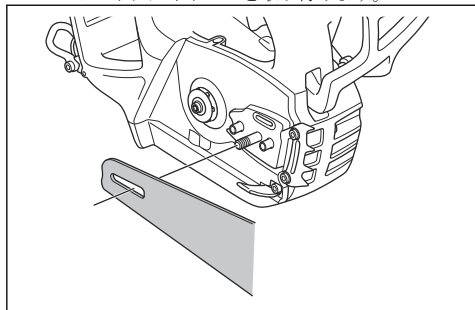
1. チェンブレイキを解除します。



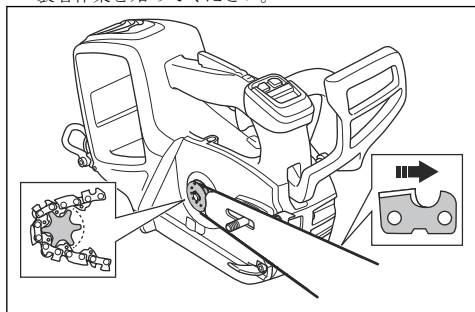
2. バーナットを緩めます。ドライブスプロケットカバーと搬送リング (A) を取り外します。



3. バーボルトにガイドバーを取り付けます。



4. ガイドバーを最後部の位置まで移動します。ソーチェンをドライブスプロケットの上まで持ち上げて、ガイドバーの溝にはめます。ガイドバーの上端から装着作業を始めてください。

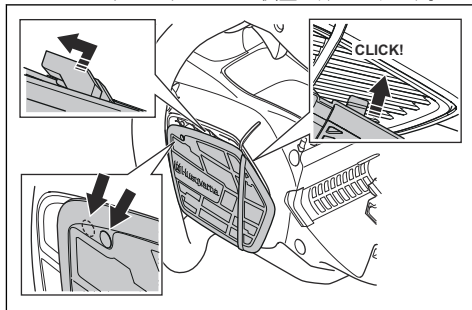


5. カッターの刃の先端部がガイドバーの上端で前向きになっていることを確認します。
6. ドライブスプロケットカバーを取り付けて、チェーン調整ピンをガイドバーの穴に通します。
7. ソーチェンのドライブリンクがドライブスプロケットに正しく取り付けられていることを確認します。
8. ソーチェンが正しくガイドバーの溝にはまっていることを確認します。
9. 指でバーのナットを締めます。
10. ソーチェンを張ります。手順については、「ソーチェンの張りの調整方法 24 ページ」を参照してください。

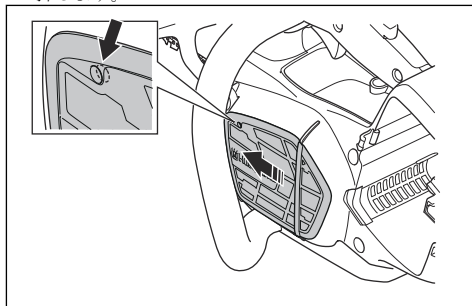
空気取り込み口カバーの取り付け (オプション)

粉塵と微粒子が大量に空气中に放出される素材を切断する場合は、空気取り込み口カバーの使用をお勧めします。

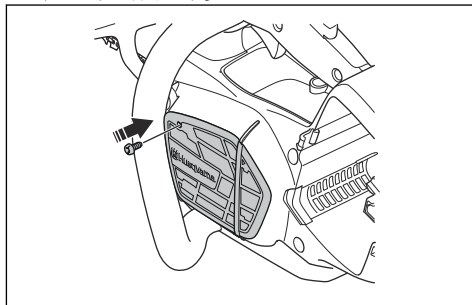
1. 空気取り込み口カバーをファンハウジングに合わせます。空気取り込み口カバーの穴をファンハウジングの穴の右側に合わせます。
2. カチッという音が聞こえるまで、空気取り込み口カバーをファンハウジングに慎重に押し込みます。



3. 穴の位置が揃うまで、空気取り込み口カバーを左に押しします。



4. ネジを取り付けます。



Operation (操作)

はじめに



警告： 本製品を使用する前に、安全に使用する章を読んで理解してください。

Husqvarna Connect

Husqvarna Connect は、モバイルデバイス用の無料アプリです。Husqvarna Connect アプリは、お持ちの Husqvarna 製品の拡張機能を提供します。

- 拡張製品情報。
- 製品の部品とサービスに関する情報とヘルプ。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジー

内蔵 Bluetooth® ワイヤレステクノロジーを搭載した製品は、モバイルデバイスに接続でき、Husqvarna Connect で追加機能を使用できます。

モバイルデバイスを製品に接続すると、Bluetooth® ワイヤレス技術のマークが表示されます。



Husqvarna Connect の使い方

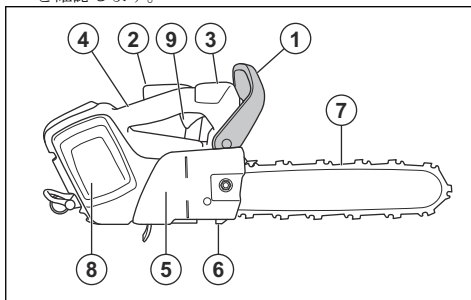
1. Husqvarna Connect アプリをモバイルデバイスにダウンロードします。
2. Husqvarna Connect アプリで登録を行います。
3. Husqvarna Connect アプリの指示に従い、本製品を接続して登録します。

注記： Husqvarna Connect アプリは一部の市場ではダウンロードできません。詳しくは、サービス代理店までお問い合わせください。

製品使用前の機能チェック

1. チェンブレイキを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
2. パワートリガーロックを点検し、正常に作動するか、損傷がないか確認します。
3. キーパッドが正しく動作するか確認します。
4. ハンドルにオイルが付着していないか確認します。
5. すべての部品が正しく取り付けられており、損傷や不足がないことを確認します。
6. チェンキャッチャーを点検し、適切に取り付けられていることを確認します。
7. チェンの張り具合を点検します。

8. バッテリーが充電されており、製品に正しく取り付けられていることを確認します。
9. パワートリガーを放すとソーチェンが停止することを確認します。



正しいチェーンオイルの使用法



警告： 人体や環境に害を及ぼすため、廃油は使用しないでください。また、廃油はオイルポンプ、ガイドバー、ソーチェンを損傷させるおそれがあります。



警告： カutting装置の潤滑が十分でない場合、ソーチェンが破損する可能性があります。作業者が重傷を負ったり、死亡事故につながるおそれがあります。



警告： この機能が正常に作動するように、適切なチェーンオイルを使用してください。チェーンオイルの選び方については、お近くのサービス代理店にご相談ください。

- ソーチェンの寿命や環境保護のために Husqvarna 製のチェーンオイルを使用してください。Husqvarna 製のチェーンオイルを手でできない場合は、標準的なチェーンオイルの使用をお勧めします。
- ソーチェン表面に滑らかな皮膜を形成するチェーンオイルを使用してください。
- 外気温に合う適正な粘性のチェーンオイルを使用してください。



注意： 0°C 未満の温度では、一部のチェーンオイルは粘度が高くなりすぎて、オイルポンプ構成部品が損傷するおそれがあります。

- 推奨されているカutting装置を使用してください。アクセサリ 29 ページを参照してください。
- チェンオイルタンクのキャップを取り外します。
- チェンオイルタンクにチェーンオイルを充填します。
- キャップをしっかりと取り付けます。



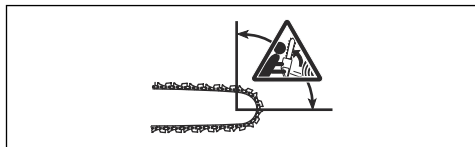
注記： 製品のチェーンオイルタンクの位置を確認するには、製品の概要 2 ページを参照してください。

キックバックについて

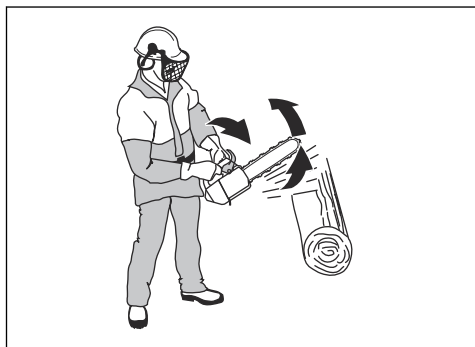


警告： キックバックにより作業者や付近にいる人が重傷を負う、または死亡するおそれがあります。リスクを軽減するには、キックバックの原因とその回避方法を理解しておく必要があります。

キックバックは、ガイドバーのキックバックゾーンに物体が接触したときに起こります。キックバックは突然発生し、製品本体が作業者に向かって跳ね返ってくることがあります。



キックバックは、常にガイドバーの切削面で起こります。通常、本体は作業者に向かって跳ね返りますが、別の方向に向かう場合もあります。キックバック発生時に本製品をどのように使用していたかによって、キックバックの動きの方向が決まります。



バー先端の半径が小さいと、キックバックの力が小さくなります。

キックバックの発生を減らすには、低キックバックソーチェーンを使用してください。キックバックゾーンに何も接触しないようにしてください。



警告： キックバックが発生しないソーチェーンはありません。指示に必ず従ってください。

キックバックに関するよくある質問

- キックバックが起きた場合、必ず手でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。フロントハンドガードを前方に押すために、ある程度の力を使う必要があります。必要な力がかからない場合、チェンブレイキはかかりません。作業中は両手でしっかりと製品のハンドルを持ってください。キックバックが発生すると、チェンブレイキがソーチェーンを止められず、ソーチェーンが人体に接触する可能性があります。また、手がフロントハンドガードに触れず、チェンブレイキをかけられない位置もあります。

- キックバックが起きた場合、必ずイナーシャ機構でチェンブレイキをかけることができますか？

いいえ。まずはチェンブレイキが正しく機能する必要があります。チェンブレイキの点検方法の詳細については、「製品の安全装置のメンテナンスと点検 20 ページ」を参照してください。本製品を使用する前に、毎回実行することをお勧めします。次に、チェンブレイキがかかるには、キックバックが強い力で起こる必要があります。チェンブレイキの感度が高すぎると、負荷の高い作業の際にチェンブレイキがかかりやすくなります。

- キックバック発生時にチェンブレイキをかけると必ず使用者の怪我を防ぐことができますか？

いいえ。怪我を防ぐには、チェンブレイキが適切に動作する必要があります。キックバック発生時には、チェンブレイキも使用してソーチェーンを停止させる必要があります。作業者の身体がガイドバーに近い場合、チェンブレイキによるソーチェーンの停止が間に合わずに、作業者にソーチェーンが当たる可能性があります。

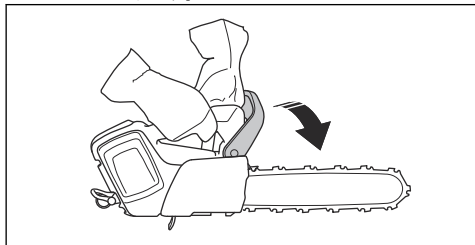


警告： 使用者が正しい操作方法で使った場合のみ、キックバックを防ぐことができます。

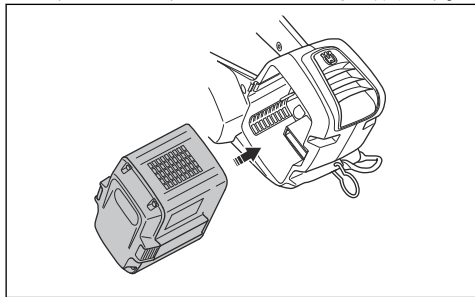
本製品の始動方法

1. パワートリガーとパワートリガーロックを点検します。パワートリガーロックの点検 21 ページを参照してください。

2. フロントハンドルガードを前方に押して、チェーンブレイキをかけます。

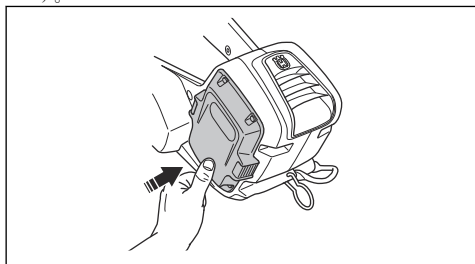


3. バッテリーをバッテリーホルダーに取り付けます。

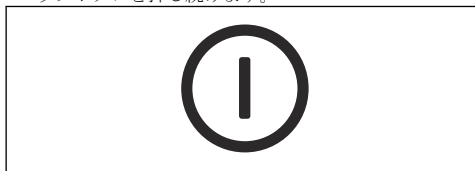


注意： バッテリーがバッテリーホルダーにしっかりと取り付けられていることを確認してください。バッテリーがバッテリーホルダーにスムーズに入らない場合は、バッテリーの位置が正しくありません。

4. カチッと音がするまで、バッテリーの下部を押します。



5. 緑色の LED ランプが点灯するまで、スタート/ストップボタンを押し続けます。



警告： 木の上で本製品を始動する際は、本製品を環索のほうへ降ろす前にチェーンブレイキをかけてください。

SavE 機能の使用

SavE 機能を使用するとチェーンの速度は遅くなり、本製品の出力が低下します。

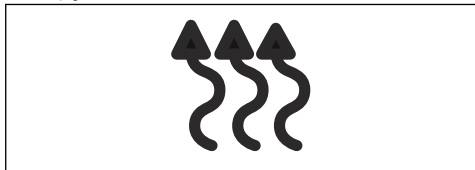
1. [SaveE] ボタンを押します。緑色の LED が点灯します。
2. もう一度 [SaveE] ボタンを押すと、SavE 機能が停止します。緑色の LED が消灯します。



ハンドルの加熱および加熱解除 (T540i XPG)

本製品にはヒーター付きのハンドルが付いています。

- ハンドルを加熱するには、[SavE] ボタンを 1 秒間押し続けます。ハンドル加熱インジケータが点灯します。

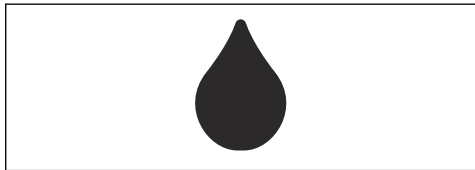


- ハンドルの加熱を解除するには、[SavE] ボタンを押します。ハンドル加熱インジケータが消灯します。

オイルレベルインジケータ

オイルレベルインジケータは、チェーンオイルを充填する時期を示します。

1. オイルレベルインジケータが点灯したら、チェーンオイルを補充します。参照：正しいチェーンオイルの使用方法 14 ページ。
2. 本製品を始動して、1～2 分間待ちます。オイルレベルインジケータが消灯します。

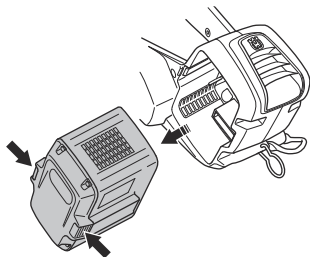


本製品の停止方法

1. 緑色の LED ランプが消灯するまで、スタート/ストップボタンを押し続けます。



2. バッテリーリリースボタンを押して、バッテリーをバッテリーホルダーから取り外します。



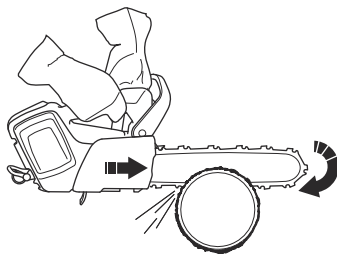
作業テクニックの概要

以下は、本製品の使用方法の概要の一部です。

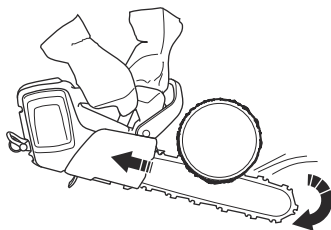


警告： 本取扱説明書に記載されている操作方法に関する情報は、この樹木作業用製品の操作トレーニング用ではありません。本製品は、必ず特殊なトレーニングを受けた樹木管理作業者が使用してください。適切なトレーニングを受けずに使用すると、重傷を負うおそれがあります。確信をもてない作業は行わないでください！

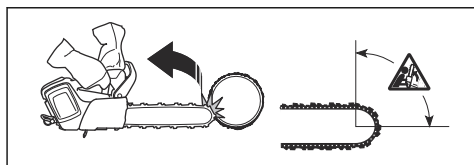
- 引き切りで切断するには、ガイドバーの下部で切断します。切断するとき、ソーチェンが木を引き寄せます。この位置で、本製品とキックバックゾーンの位置をうまく制御できます。



- 押し切りで切断するには、ガイドバーの上部で切断します。ソーチェンが作業者の方向に製品を押しします。



警告： 押し切りで切断する場合は、注意してください。ソーチェンが幹に引っかかると、製品が作業者に向かって押し出されます。この力を抑える必要があります。そうしないと、ガイドバーのキックバックゾーンが木に接触する危険があります。これにより、キックバックが起きます。



- 最大出力で鋸断してください。
- 切り終わるごとにパワートリガーを放してください。



注意： モーターに負荷をかけずに最大出力で長時間動作させると、モーターが損傷することがあります。例えば、切断時にソーチェンに抵抗がかからない状態です。

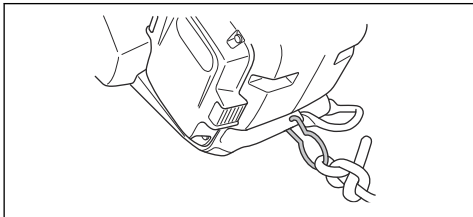
本製品を木の上で使用するための準備 地上作業者

地上作業者は、次の手順を実行します。

1. 製品を点検します。
2. バッテリーの充電。
3. 認可済みの安全ストロップの端をロープアイレットに取り付けます。

注記： 安全ストロップは、本製品を落とした場合に地面に落下することを防ぎます。

4. 安全ストロップのもう一方の端にカラビナがあることを確認します。



5. 本製品を始動します。
6. 本製品を停止します。
7. チェンブレーキをかけます。
8. 木の上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げます。引き上げツールを使用します。



警告： 木の上にいる作業者の位置まで本製品を吊り上げる際は、製品が安全に取り付けられていることを確認してください。

樹上作業者

樹上作業者として、次の手順を実行します。

1. 引き上げツールから安全ストロップを外す前に、本製品をハーネスに取り付ける必要があります。ベルトアイレットが安全ストロップのスチールリングを通して製品をハーネスに取り付けます。



警告： ハーネスの推奨される固定ポイントの1つに安全ストロップを取り付けます。



警告： 安全ストロップだけを使用して製品をハーネスに取り付ける場合は、安全ストロップで製品を完全に下へ降ろします。本製品を高い位置から落とさないでください。

2. 認可済みカラビナを使用して、安全ストロップの自由端をハーネスの接続ポイントのいずれかに取り付けます。これが第一接続ポイントです。



注意： 安全ストロップは、必ずロープアイレットに取り付ける必要があります。

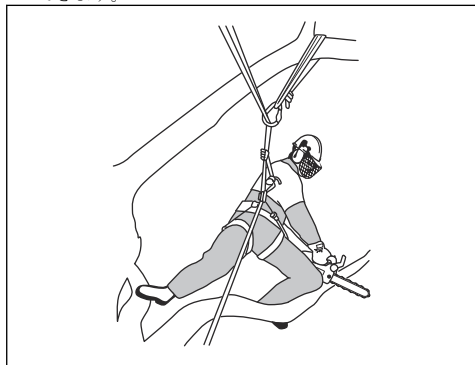
3. 切断作業の際には、自分が安定した安全な位置にいることを確認してください。
4. 本製品を第二接続ポイントから放し、本製品を始動して切断作業を行います。
5. 切断作業完了後、チェンブレーキを直接かけます。

本製品を樹上で操作する方法



警告： ほとんどの事故は、作業者が本製品を制御しきれなかったり、作業位置が不適切だったりに発生します。

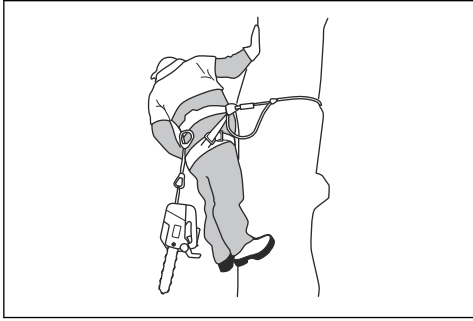
- 安全な作業位置を確保します。
- 横方向の切断は腰の高さまで、縦方向の切断はみぞおちの高さまでにします。
- 本製品は両手で持ってください。
- 縦方に枝を切断するときは、足元が安定していることを確認し、横力を低く抑えます。別の固定ポイントで安全なラインを見つけ、横方向の力をなくすか、弱めるようにしてください。調整可能な環索で、ハーネスから直接別の固定ポイントを使用することもできます。



- 安全な作業位置を保つために足繩を使用してください。



- 定期的にハーネス、ベルト、ロープの状態を点検してください。
- 製品を持って木に登る必要がある場合、ハーネスの背面の固定ポイントに製品を取り付けます。背面の固定ポイントにより、本製品がクライミングラインを妨げないようにするとともに、本製品の重量を背骨下部の中央で支えることができます。



警告： 製品を環策に下ろすときは、チェーンブレーキをかけてください。

引っかけた製品を外す方法

- 本製品を停止します。
- 木の幹に対して切り口の中、または別のツールラインで、製品を安定させます。
- 必要に応じて枝を持ち上げながら、切り口からチェーンソーを慎重に引き出します。



警告： 製品を力任せに引き抜こうとしないでください。重傷を負う危険があります。

- 必要に応じて、ハンドソーまたは別のチェーンソーを使用して、本製品を外します。引っかけている本製品から **30 cm (12 インチ)** 以上離れた枝を切断します。製品が引っかけている場所から外側の端を切断します。

メンテナンス

はじめに



警告： 本製品のメンテナンスを実行する前に、安全に関する章を読んで理解してください。

本製品に必要なメンテナンス手順のリストは以下のとおりです。詳細については、メンテナンス **19** ページを参照してください。

メンテナンススケジュール



警告： メンテナンスを実行する前にバッテリーを外してください。

メンテナンス	毎回	毎週	毎月
本製品の外部部品を清掃してください。	X		
パワートリガーとパワートリガーロックが正しく機能することを確認します。	X		
チェーンブレーキを清掃し、チェーンブレーキが安全に動作することを確認します。チェーンキャッチャーに損傷がないことを確認してください。必要に応じて交換します。	X		
均一に摩耗するように、ガイドバーを回転させます。ガイドバーの潤滑孔が詰まっていないことを確認します。ガイドバーのレール溝を清掃します。	X		
ガイドバーとソーチェンに十分なオイルが注油されていることを確認します。	X		
ソーチェンを点検します。ヒビ割れがないか調べて、ソーチェンが粗くなっているか、異常に摩耗していないか確認します。必要に応じ交換します。	X		

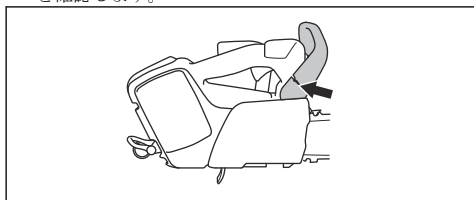
メンテナンス	毎回	毎週	毎月
ソーチェンを目立てします。ソーチェンの張り状態を点検します。ドライブスプロケットの摩耗を点検し、必要に応じて交換します。	X		
製品の給気口を清掃します。	X		
ネジとナットが確実に締められていることを確認します。	X		
キーパッドが正しく機能し、損傷がないことを点検します。	X		
ヤスリを使用して、ガイドバーの縁からすべてのバリを削り取ります。		X	
バッテリーと本製品の接続を確認してください。バッテリーとバッテリー充電器の接続を確認してください。			X
オイルタンクを空にして洗浄します。			X
製品とバッテリー冷却スロットに圧縮空気を慎重に吹き付けます。			X

製品の安全装置のメンテナンスと点検

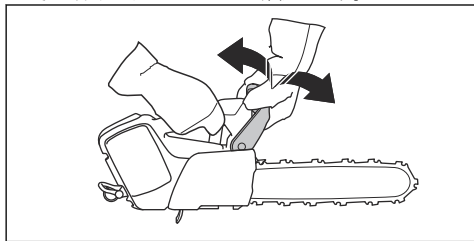
フロントハンドガードの点検方法

フロントハンドガードを定期的に点検してください。

1. フロントハンドガードに亀裂などの損傷がないことを確認します。



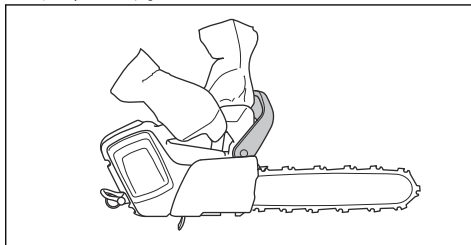
2. フロントハンドガードが自由に動き、製品に安全に取り付けられていることを確認します。



ブレーキトリガーを点検するには

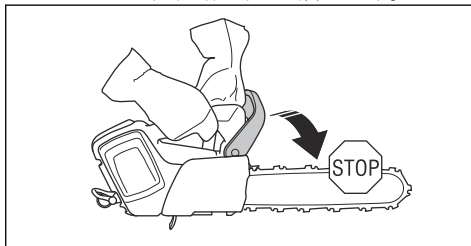
1. 本製品を始動し、ソーチェンが地面やその他の物に触れないよう、注意してください。詳しくは、「本製品の始動方法 15 ページ」を参照してください。

2. 本製品をしっかりと保持してください。ハンドルを両手で握ります。



3. 最大出力にして、左手首を前に傾けてチェンブレイキをかけます。

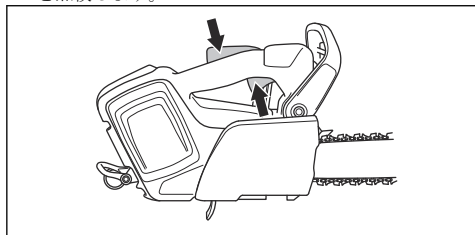
4. ソーチェンがすぐに停止するか確認します。



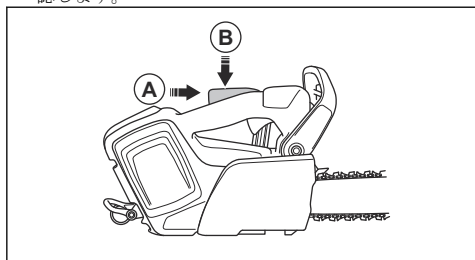
警告： このとき、フロントハンドルから手を放さないでください。

パワートリガーロックの点検

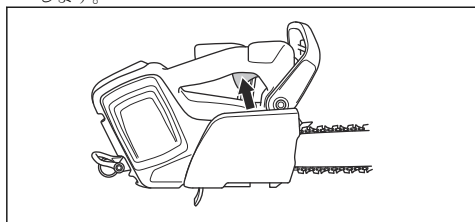
1. パワートリガーとパワートリガーロックがスムーズに動き、リターンスプリングが正しく機能することを点検します。



2. パワートリガーロックを前方 (A) に押してから、押し下げます (B)。パワートリガーロックをハンドルの方へ押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。



3. パワートリガーロックを解放したとき、パワートリガーがアイドリングの位置になっていることを確認します。



4. 本製品を始動し、最大出力にします。
5. パワートリガーを解放し、ソーチェンの回転が停止して静止状態が保たれていることを確認します。

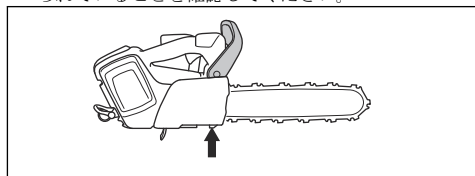


警告：パワートリガーがアイドリング位置にあるときにソーチェンが回転する場合は、サービス代理店にご連絡ください。

チェンキャッチャーを点検するには

1. チェンキャッチャーが損傷していないことを確認してください。

2. チェンキャッチャーが安定し、製品本体に取り付けられていることを確認してください。



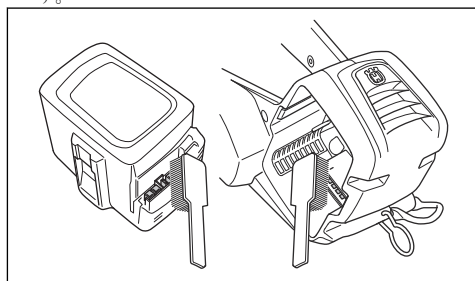
ユーザーインターフェイスの機能のチェック

1. 本製品を始動します。本製品の始動方法 15 ページを参照してください。
2. スタート/ストップボタンを押し続けます。
3. 本製品が停止し、緑色の LED が消灯することを確認します。

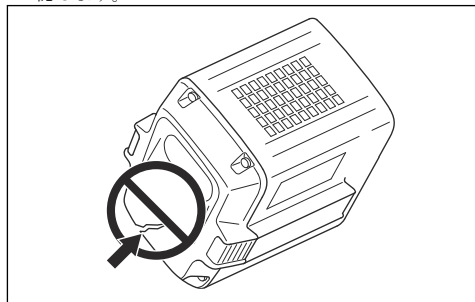


バッテリーとバッテリーホルダーの点検方法

1. バッテリーとバッテリーホルダーを柔らかいブラシで掃除します。
2. 冷却スロットとバッテリーコネクタを掃除します。

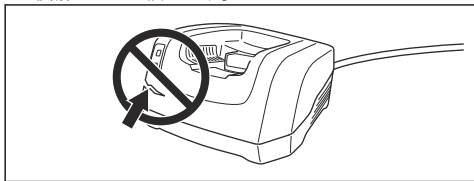


3. バッテリーにひびがなく、損傷していないことを確認します。



バッテリー充電器の点検

1. バッテリー充電器および電源ケーブルが破損していないことを確認してください。ヒビ割れやその他の損傷がないか調べます。

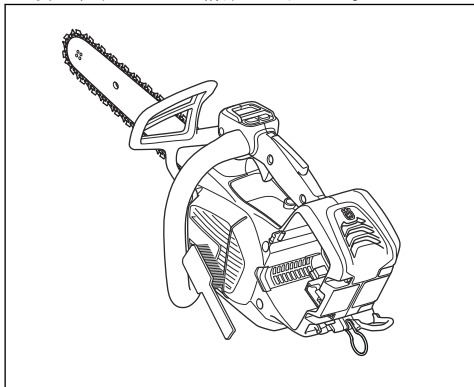


冷却システムのクリーニング方法

冷却システムにより、エンジン温度が低く保たれます。冷却システムは、製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。

冷却システムは、製品の左側にある空気取り込み口とモーターのファンで構成されます。

1. 必要に応じて、ブラシを使用して週に 1 回以上の頻度で冷却システムを清掃してください。



2. 冷却システムに汚れや詰まりがないことを確認してください。



注意：冷却システムに汚れや詰まりがあると、製品が過熱する原因になります。本製品が損傷します。

ソーチェンを目立てするには

ガイドバーとソーチェンの詳細

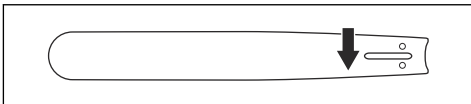


警告：ソーチェンを使用したりメンテナンスを実施したりするときは、保護グローブを着用してください。動いていないソーチェンでも怪我をする場合があります。

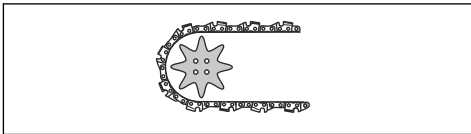
摩耗または損傷があるガイドバーやソーチェンは、Husqvarna 推奨のガイドバーとソーチェンの組み合わせで交換してください。これは、製品の安全機能を維持す

るために必要です。推奨される交換用ガイドバーとチェンの組み合わせリストについては、「アクセサリ 29 ページ」を参照してください。

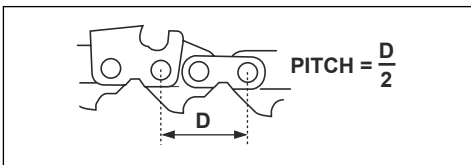
- ガイドバーの長さ (インチ/cm)。ガイドバーの長さに関する情報は、ガイドバーの後部に記載されています。



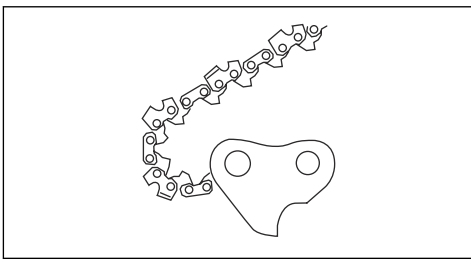
- ノーズスプロケットの歯の数 (T)。



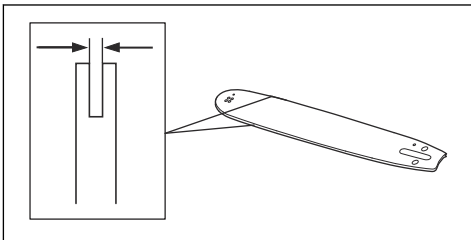
- チェンのピッチ (インチ)。ソーチェンのドライブリンク同士の間隔と、ノーズスプロケットの歯とドライブスプロケット間の間隔とが一致するようにしてください。



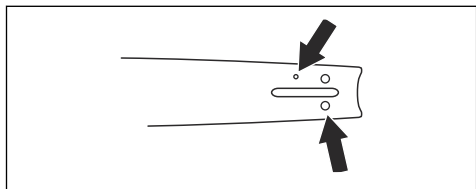
- ドライブリンクの数。ドライブリンク数は、ガイドバーの種類によって決定されます。



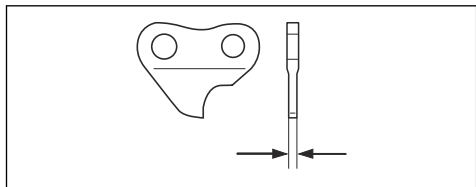
- ガイドバーのレール溝幅 (インチ/mm)。ガイドバーの溝幅は、チェンドライブリンクの幅と同じにする必要があります。



- チェンオイル孔とチェーンテンション孔。ガイドバーは製品と一致する必要があります。



- ドライブリンクの幅 (mm/インチ)。

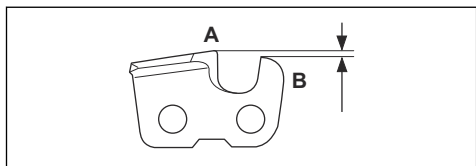


カッターの目立て方法に関する一般情報

刃先が丸くなったソーチェンは使用しないでください。ソーチェンの刃先が丸くなると、より大きな力をかけてガイドバーを木に押し込む必要があります。ソーチェンの刃先が非常に丸くなると、木片ではなく切りくずが出ます。

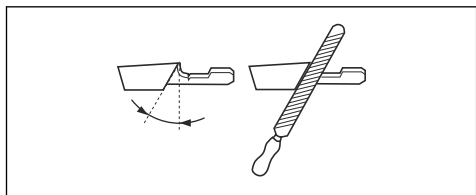
鋭いソーチェンを使用すると、抵抗なく木に切り込むことができ、長く厚い切りくずが出ます。

刃 (A) とデプスゲージ (B) は、ソーチェンの木を切る部分 (カッター) になります。刃とデプスゲージの高さの差が切断深度 (デプスゲージ設定) になります。

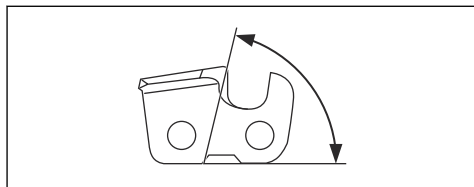


刃を目立てするときは、次のことを考慮してください。

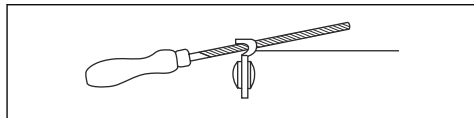
- 目立て角度。



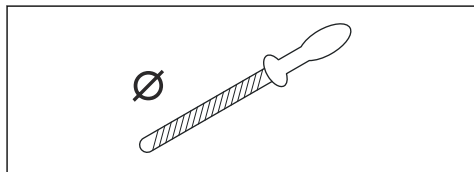
- 切削角度。



- ヤスリの位置。



- 丸ヤスリの直径。



ソーチェンの目立てを正しく行うには、適切な装置を使用する必要があります。Husqvarna 推奨の目立てゲージを使用してください。最高の切削性能を得ることができ、キックバックの危険も最小限に抑えられます。

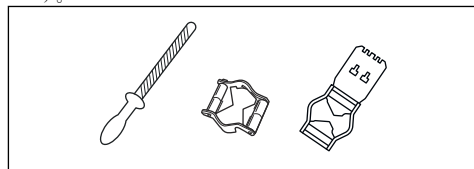


警告： 目立て手順に従わないと、キックバックの力が大きくなります。

注記： ソーチェンの目立ての詳細については、アクセサリ 29 ページを参照してください。

刃の目立て方法

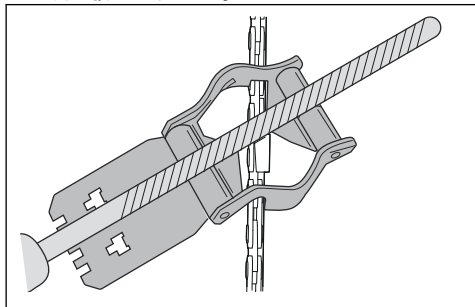
1. 丸ヤスリと目立てゲージを使用して刃を目立てします。



注記： Husqvarna が推奨するヤスリとゲージについては、アクセサリ 29 ページを参照してください。

2. 目立てゲージを刃に正しく当てます。目立てゲージに付属している説明書を参照してください。

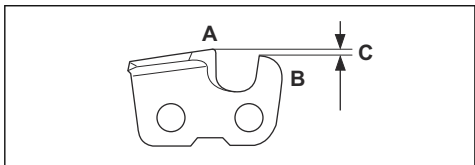
3. ヤスリを刃の内側から外側に動かします。引くときは力を抜いてください。



4. すべての刃の片側にヤスリをかけます。
5. 本製品をひっくり返して、反対側の刃にヤスリをかけます。
6. すべての刃が同じ長さであることを確認してください。

デブスゲージ設定の調整方法に関する一般情報

刃 (A) の目立てを行うと、デブスゲージ設定 (C) が低くなります。切断性能を最良の状態に保つには、推奨されるデブスゲージ設定に達するまで、デブスゲージ (B) に合わせてヤスリをかける必要があります。お使いのソーチェーンに適した正しいデブスゲージ設定について詳しくは、「アクセサリ 29 ページ」を参照してください。

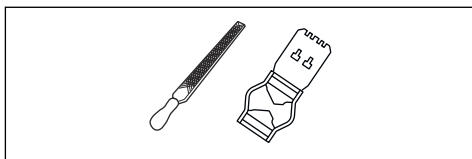


警告： デブスゲージの設定が高すぎると、キックバック発生の危険性が高まります。

デブスゲージの設定を調整するには

デブスゲージ設定の調整、または刃の目立てを行う前に、刃の目立て方法 23 ページで手順を参照してください。デブスゲージ設定の調整は、刃の目立てを 3 回行うごとに 1 回の割合で行うことを推奨します。

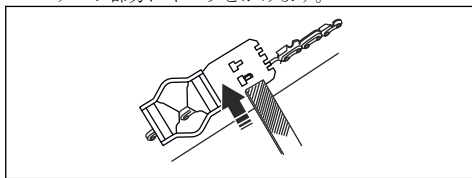
デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整するために、デブスゲージツールの使用を推奨します。



1. 平ヤスリとデブスゲージツールを使用して、デブスゲージ設定を調整します。必ず **Husqvarna** 推奨のデブスゲージツールを使用して、デブスゲージの設定を正しく行い、デブスゲージの角度を調整してください。
2. デブスゲージツールをソーチェーンに置きます。

注記： デブスゲージツールの使用方法については、ツールのパッケージを参照してください。

3. 平ヤスリで、デブスゲージツールから突き出たデブスゲージ部分にヤスリをかけます。



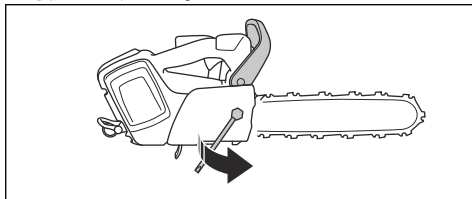
ソーチェーンの張りの調整方法



警告： ソーチェーンに適切な張りがないとガイドバーから外れることがあり、重傷または死亡事故の原因となるおそれがあります。

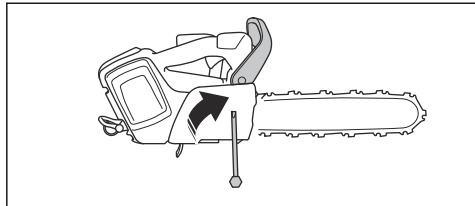
ソーチェーンは、使用するにつれ長くなってきます。ソーチェーンは定期的に調整してください。

1. ドライブスプロケットカバーとチェーンブレイキを保持しているバーナットを緩めます。コンビレンチを使用してください。

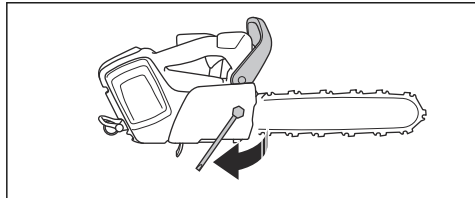


2. ガイドバーの前を持ち上げて、チェーン張りネジを回します。コンビレンチを使用してください。

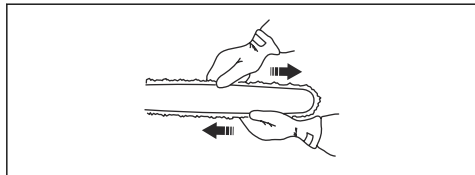
3. ガイドバーにソーチェンをしっかり取り付けます。



4. コンビネーションレンチを使用してバーナットを締め込むと同時にガイドバーの前方を持ち上げます。



5. ソーチェンを手で自由に回せること、ガイドバーの下側にたるみがないことを確認してください。



注記： 製品のチェンの張り調整ネジの位置については、「製品の概要 2 ページ」を参照してください。

ソーチェンの潤滑状態を点検するには

- 3 回目のバッテリー充電時にソーチェンの潤滑状態を点検します。

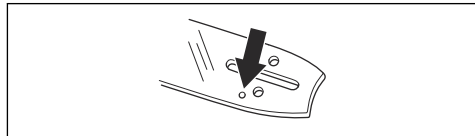
1. 本製品を始動し、最高速度で運転します。色が薄い場所の上、約 20 cm (8 インチ) の高さでガイドバーを保持します。

2. ソーチェンの潤滑状態が良好な場合、1 分未満で透明なオイルの線が確認できます。

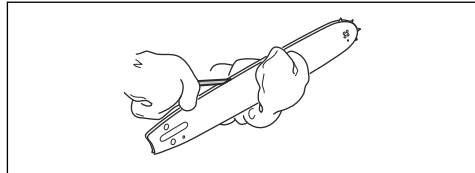


3. ソーチェンの潤滑状態が不良な場合、次のことを点検してください。

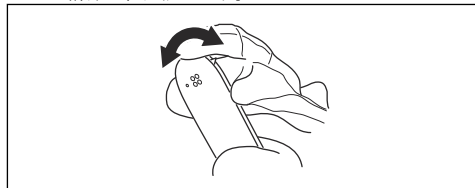
- a) ガイドバーのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- b) ガイドバーの端にある溝が汚れていないかどうか点検します。必要に応じて清掃します。



- c) ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転するか、またスプロケットのオイル孔が詰まっているかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。

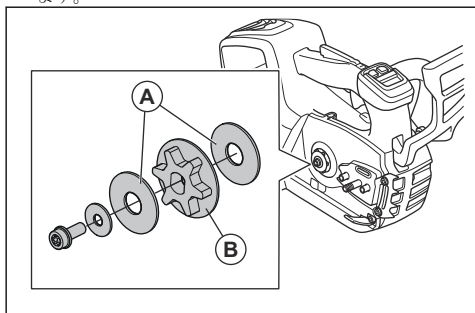


4. 上記の手順を実行してもソーチェンの潤滑状態が改善しない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

チェンドライブスプロケットの点検方法

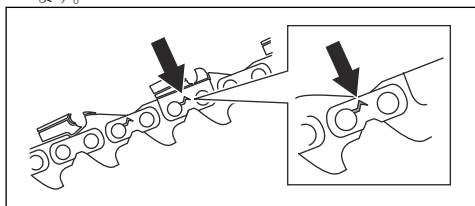
- ドライブスプロケットに磨耗がないか点検します。必要に応じてドライブスプロケットを交換します。

- ソーチェンを交換する度にチェンドライブスプロケットも交換してください。大型ワッシャー (A) の凹側をドライブスプロケット (B) に向ける必要があります。

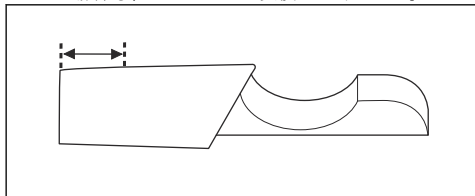


カッティング装置の点検方法

1. リベットやリンクに亀裂がないこと、リベットが緩んでいないことを確認します。必要に応じて交換します。

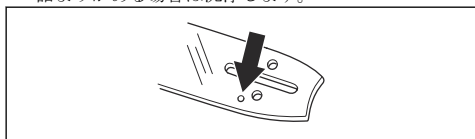


2. ソーチェンが簡単に曲がることを確認します。曲がらない場合はソーチェンを交換します。
3. リベットやリンクが摩耗していないかどうか、ソーチェンを新しいソーチェンと比べます。
4. 刃の最長の部分が 4 mm (0.16 インチ) 未満の場合、ソーチェンを交換してください。カッターに亀裂がある場合も、ソーチェンを交換してください。

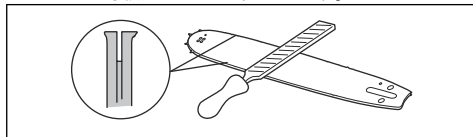


ガイドバーを点検するには

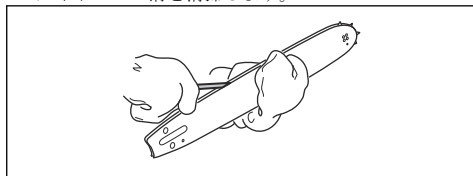
1. オイル孔に詰まりがないことを確認してください。詰まりがある場合は洗浄します。



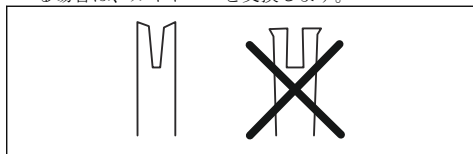
2. ガイドバーの縁にバリがないかどうかを調べます。ヤスリを使用してバリを除去します。



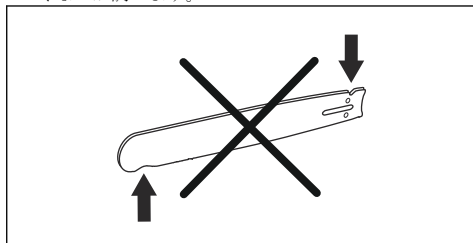
3. ガイドバーの溝を清掃します。



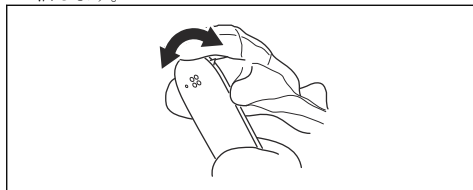
4. ガイドバーの溝に摩耗がないか調べます。摩耗がある場合は、ガイドバーを交換します。



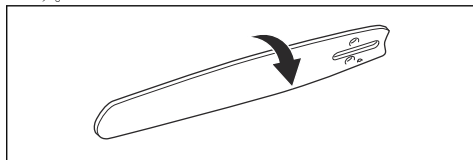
5. ガイドバー先端が粗くなっていないか、摩耗がひどくないか調べます。



6. ガイドバーのノーズスプロケットがスムーズに回転することと、スプロケットのオイル孔が詰まっていないかどうか点検します。必要に応じて清掃し、注油します。



7. 寿命を延ばすために、ガイドバーは毎日回転させます。

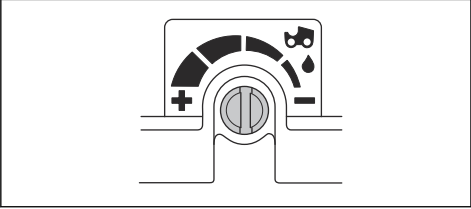


チェーンオイルの流量調節



警告： オイルポンプを調整する前に、モーターを停止します。

- オイルポンプの調整ネジを回します。ドライバーまたはコンビレンチを使用してください。



- a) 調整ネジを反時計方向に回すと、オイル流量が増加します。
- b) 調整ネジを時計方向に回すと、オイル流量が減少します。

トラブルシューティング

ユーザーインターフェイス

LED 画面	想定される不具合	解決方法
警告インジケータが点滅。	チェンプレーキがかかっています。	チェンプレーキを解除します。
	温度の逸脱。	本製品を冷ましてください。
	過負荷。ソーチェンが動かない。	ソーチェンを解放します。
	パワートリガーと START/ STOP ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを放して本製品を有効化します。
緑色の LED が点滅。	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
警告インジケータが点灯。	サービス。	サービス代理店にお問い合わせください。

搬送、保管、廃棄

搬送と保管

- 同梱のリチウムイオンバッテリーは、危険物の規制に関する規則に準拠しています。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関して所定の要件に従ってください。
- 本製品を発送する前に、危険物に関して特別な訓練を受けた担当者にご相談ください。該当するすべての国内規制に従ってください。

- バッテリーを梱包するときは、露出している端子にテープを貼ってください。バッテリーを固定し、動かないように梱包してください。
- 保管するときや搬送時はバッテリーを外してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、乾燥して湿気や霜がない場所に置いてください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは温度が **5～25°C (41～77°F)** の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は温度が **5～45°C (41～113°F)** の場所に保管し、直射日光から遠ざけてください。
- バッテリー充電器は、周囲温度が **5°C ～ 40°C** の場合のみ使用してください。
- バッテリーを長期間保管するときは、充電量を **30～50 %** にしてください。
- バッテリー充電器は、密閉した乾いた場所に保管してください。
- バッテリーの保管中は、バッテリー充電器から遠ざけてください。子供や許可されていない他の人が機器に触れないようにしてください。施錠できる場所に装置を保管してください。

- 製品を長期間保管する場合は、その前に製品を清掃し、よく点検しておいてください。
- 搬送中および保管中に製品が傷ついたり損傷したりしないように、製品の移動用ガードを使用してください。
- 搬送中は製品をしっかりと固定してください。

バッテリー、バッテリー充電器、および製品の廃棄

以下のマークは、本製品が家庭ゴミではないことを示しています。電気・電子機器のリサイクル業者にリサイクルを依頼してください。これは、環境および人への被害を防止するためです。

詳細については、自治体の担当部局、家庭ゴミ収集業者、または販売店にお問い合わせください。



注記： マークは、製品または製品の容器に表示されています。

主要諸元

主要諸元

	T540i XP	T540i XPG
モーター		
タイプ	BLDC（ブラシレス） 36 V	BLDC（ブラシレス） 36 V
特長		
低エネルギーモード	SavE	SavE
潤滑システム		
オイルポンプの型式	調整可能	調整可能
オイルタンク容量、L/cm ³	0.18/180	0.18/180
質量		
チェーンソー（バッテリー、ガイドバー、ソーチェーンなし、チェーンオイルタンクが空）、kg	2.5	2.6
防水レベル		
IPX4	はい	はい
騒音排出 ¹		
実測音響レベル dB（A）	101	101

¹ 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー（L_{WA}）として測定。

	T540i XP	T540i XPG
保証音響レベル L _{WA} dB (A)	103	103
サウンドレベル²		
使用者聴覚での等価騒音レベル、dB (A)	92	92
振動レベル³		
フロントハンドル、m/s ²	2.2	2.2
リヤハンドル、m/s ²	4.3	4.3
等価振動レベル⁴		
フロントハンドル、m/s ²	2.1	2.1
リヤハンドル、m/s ²	3.5	3.5
ソーチェン/ガイドバー		
推奨のガイドバーの長さ、インチ/cm	12 ～ 16/30 ～ 40	12 ～ 16/30 ～ 40
切断できる長さ、インチ/cm	11 ～ 15/28 ～ 38	11 ～ 15/28 ～ 38
ドライブsprocketの種類、歯数	m0.325 インチ/7 (SP21G)、1/4 インチ/8 (H00)	m0.325 インチ/7 (SP21G)、1/4 インチ/8 (H00)
最大チェン速度/ (SavE)、m/s	24 (18)	24 (18)
Bluetooth® の無線周波数データ		
周波数帯、GHz	2.4 ～ 2.4835	2.4 ～ 2.4835
出力電力、最大 dBm 0	0	0

アクセサリ

ガイドバーとソーチェンの組み合わせ

Husqvarna T540i XP の使用が認可されているカッティングアタッチメントは次のとおりです。



警告： ソーチェン SP11G を使用する場合は、BLI200X バッテリーを使用してください。

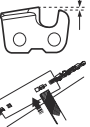
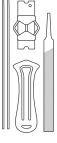
- ² 等価騒音レベルは ISO 22868:2011 に則し、さまざまな作動状態における騒音レベルの時間加重エネルギーとして計算されます。等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつきは、1 dB (A) の標準偏差となります。
- ³ 振動レベルは EN 62841-4-1 に準拠。報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき（標準偏差）は、1 m/s² です。正しい長さのガイドバーと推奨チェーンタイプが取り付けられた製品を測定したときの公称振動データです。異なる長さのガイドバーが製品に取り付けられている場合、振動レベルは最大 ± 1.5 m/s² まで変化する可能性があります。
- ⁴ 等価振動レベルは、燃焼機関駆動のチェンソー用に測定、計算されたものです。これらの数値は、エンジンのタイプとは無関係に振動データを比較できるよう、ISO 22867:2011 に基づいて算出されています。

ガイドバー				ソーチェン		
長さ、インチ	チェンピッチ、 インチ	ゲージ、mm	最大ノーズ半 径	タイプ	長さ、ドライブ リンク (数)	低キックバック
12	0.325 ミニ	1.1	8T	Husqvarna SP21G	51	はい
14					59	
16					64	
12	1/4 インチ	1.3	Carving	Husqvarna H00	68	いいえ
10 インチ	1/4 インチ／ミ ニ	1.1	8T	SP11G	60	
12 インチ					68	

目立て装置と目立て角度

Husqvarna の目立てゲージを使用すると、正しい目立て角度が分かります。ソーチェンの切れ味を回復させるには、常に Husqvarna の目立てゲージを使用することを推奨します。部品番号を次の表に示します。

お使いの製品のソーチェンがわからない場合は、サービス代理店にお問い合わせください。

							
SP21G	5/32 インチ/ 4.0 mm	60°	30°	0°	0.025 イン チ/0.65 mm	595 00 46-01	595 00 47-01
H00	5/32 インチ/ 4.0 mm	85°	30°	10°	0.025 イン チ/0.65 mm	580 68 75-01	580 68 74-01
SP11G	9/64 インチ ／3.5 mm	60°	30°	0°	0.016 イン チ／0.4 mm	529 93 71-01	529 93 71-01

認可されたバッテリー

注記： カutting装置の性能を最大限に発揮させるために、Husqvarna では、以下の認定バッテリーのいずれかを使用することをお勧めします。他のバッテリー

を使用することでもできますが、カutting装置の性能が低下します。

バッテリー	BLi200X	BLi300
型式	リチウムイオン	リチウムイオン
バッテリー容量、Ah	5.2	9.4
公称電圧、V	36	36
質量、kg	1.4	2.0

認可されたバッテリー充電器

バッテリー充電器	QC500
入力電圧、V	100-240
周波数、Hz	50-60
電力、W	500

適合宣言

EU 適合宣言

ハスクバーナ社 (Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号: +46-36-146500) は、単独責任のもとで、以下の製品の適合を宣言します。

名称	コードレスバッテリー式チェンソー
ブランド	Husqvarna
タイプ/モデル	T540i XP, T540i XPG
ID	2023 年以降の製造番号

が以下の EU 指令および規制を完全に順守し、

規制	名称
2006/42/EC	「機械類に関する」
2014/53/EU	「無線機器に関する」
2014/30/EU	「電磁環境適合性に関する」
2011/65/EU	「電気・電子製品に含まれる特定有害物質の使用制限に関する」
2000/14/EC	「環境への騒音排出に関する」

および以下の規格または技術仕様が適用されています。
IEC 62841-1:2014, EN ISO 11681-2:2011/A1:2017, EN 61000-6-1:2007, EN 61000-6-3:2007+A1:2011, EN IEC 63000:2018。

Bluetooth® 機能搭載製品の適合規格は次のとおりです。
ETSI EN 301 489-1 v.2.1.1, ETSI EN 301 489-17 v.3.1, EN 300 328 v.2.2.2。

証明書番号: 0404/20/2544, 01/162/004。

試験機関: 0404, SMP, Svensk Maskinprovning AB, Box 4053, SE-904 03, Umeå, Sweden が機械指令 (2006/42/EC) の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。

SMP, Svensk Maskinprovning AB が評議会指令 2000/14/EC の補足 V への同意も確認しました。

騒音排出に関する詳細: 主要諸元 28 ページ。

Husqvarna, 2023-09-15

Stefan Holmberg、研究開発責任者、技術管理、ハスクバーナ社。

技術文書担当



登録商標

Bluetooth® マークとロゴは、Bluetooth SIG, inc. が所有する登録商標です。当該マークの使用について、Husqvarna は、ライセンスの許諾を受けています。



www.husqvarna.com

取扱説明書原本



1143109-79



2023-11-27